

令和2年度ホタテガイ採苗情報（第10報）

令和2年7月1日



発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合

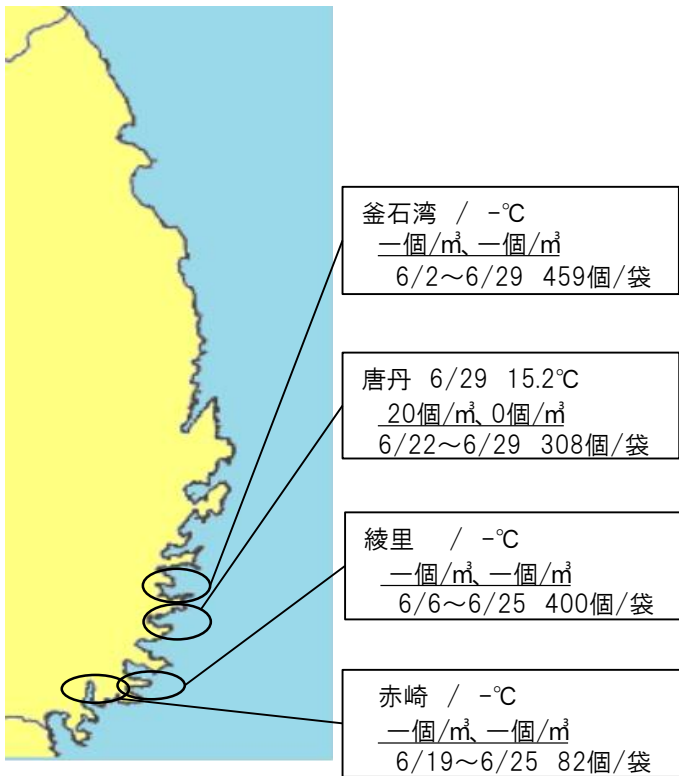
県中南部で付着稚貝数が増加しました。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は15.2℃で、透明度は15.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが20個/m³出現し、200μm以上の大型ラーバは見られませんでした。
- 唐丹湾の試験採苗器へは308個体（6/22～6/29）のホタテガイ稚貝が付着しており、うち6.5%が付着直後の稚貝でした。
 （※昨年同時期：739個/袋/週）
- 唐丹湾では先週に比べ付着稚貝数が減少しましたが（6/16～22：508個/袋）、稚貝の付着が継続しています。
- 県中南部において、付着稚貝数が増加しました。

< 宮城県の状態（6月23日発行ホタテガイ採苗通報（第10報）） >

- ホタテガイラーバ、付着稚貝数ともに減少しています。



調査点 調査日 水深10m層水温
 ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、7月8日頃に
 発行する予定です。

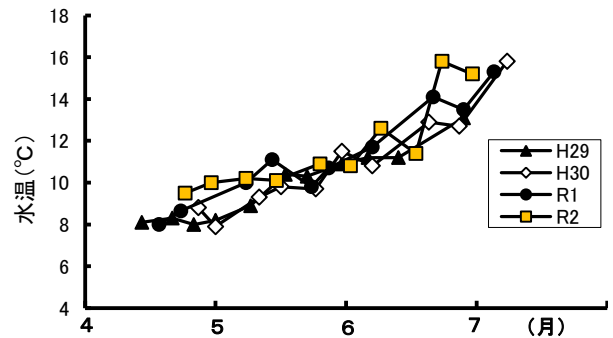


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

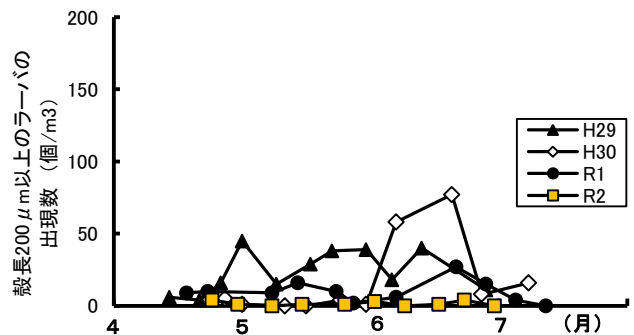


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

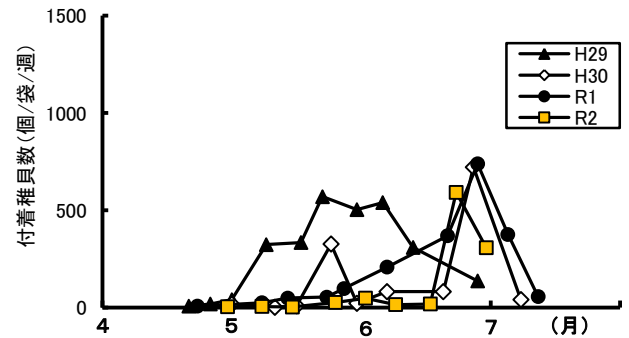


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ付着稚貝数